

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2026年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項ならびに競技注意事項による。ただし、スタートの不適切行為で、2回目の規則違反を受けた競技者については、当該種目のみ失格とし、それ以後のすべての種目から除外しない。

2 招集について

(1) 各競技招集は、各種目スタート地点で行う。

(2) 招集の方法

①競技者は招集完了時刻までに点呼を受ける。

当日朝の段階で棄権することがわかっている場合は顧問が総務に届け出ること。次のラウンドに進出が決定した後何らかの理由で棄権する場合は本人または代理人が出発係に申し出ること。

②本人が他の種目に出場している場合に限り、最終点呼を代理人が受けることを認める。

③リレーの予選に出場するチームは、オーダー用紙を使い、正午までにオーダーを記入して1部総務に提出する。尚、変更する場合は、招集完了1時間前までにオーダー変更届を総務に提出する。決勝に出場するチームは、招集完了1時間前までに総務に用意してあるオーダー用紙に記入して1部提出する。

④四種競技出場者は、各競技場所で招集を受ける。

⑤招集時刻は開始時刻を基準として、競技日程の欄に記載してある。

⑥招集時刻に遅れたものは、当該種目を棄権したものとして処理する。

⑦2種目同時に行われる種目に出場する時は、あらかじめその旨を、招集開始時に、競技役員に届け出る。さらに他種目に移動する際、担当審判員に申し出ること。ラウンドに間に合わない場合は「パス」扱いになる。

3 競技について

(1) トラック種目はすべて写真判定装置で行う。

(2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。

(3) リレーに出場するチームは、同一のユニフォームで出場することが望ましい。

(4) リレーの第2・3・4走者は、マーカーを一ヶ所使用することができる。走り終わったら必ずそのチームが撤去すること。

(5) 3000mはグループスタートで行う。

(6) タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定は下記によって行う。

同記録の時は、写真を拡大して1/1000秒以上の差がある場合は着差ありとして進出者を決める。それでも決められないときは、抽選で決定する。

(7) 800mは着上げとする。プラス以降上位8名でB決勝を行う。

(8) 800m・1500m・3000mの同タイム者は、全員次のラウンドに進める。1500mの決勝は16名、3000mは20名で行う。

(9) フィールド種目の計測値およびバーの上げ方は下記の通りとする。なお、当日の状況により変更する。

●走幅跳男子 5m00 ●走幅跳女子 3m90

●砲丸投男子 7m00 ●砲丸投女子 7m00

●円盤投男子 15m00 ●円盤投女子 10m00

●走高跳男子（練習1m35）1m40（以後5cmきざみ）・・・1m70－1m73
（以後3cmきざみ）

●走高跳女子（練習1m15）1m20（以後5cmきざみ）・・・1m40－1m43
（以後3cmきざみ）

●棒高跳男子（練習 2 m 2 0） 2 m 3 0－2 m 4 0・・・3 m 1 0－3 m 1 5
(以後 5 cm きざみ)

女子（練習 1 m 5 0） 1 m 6 0－2 m 0 0（以後 5 cm きざみ）

●四種競技走高跳

・男子（練習 1 m 3 0） 1 m 3 5－1 m 4 0（以降 5 Cm きざみ） 1 m 6 0－1 m 6 3
(以後 3 cm きざみ)

・女子（練習 1 m 1 0） 1 m 1 5－1 m 2 0－1 m 2 5－1 m 3 0－1 m 3 3
(以後 3 cm きざみ)

- (10) 予選におけるトラック競技のレーン順、並びに跳躍・投てき競技の試技順は、アスリートランキングに示された番号順とする。
- (11) 四種競技の組およびレーン順と跳躍・投てきの試技順も上に準ずる。
- (12) 跳躍競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）にマーカーを2個まで置くことができる。競技が終わったら各自で撤去すること。
- (13) 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置をあらかじめ当該競技役員に申し出る。その後、位置を変更したい場合も当該競技役員に申し出る。

4 スパイクおよびシューズについて

- (1) スパイクの長さは9mm（走高跳は12mm）をこえてはならない。
- (2) シューズ規則 **TR5.2** が適用され、シューズの厚さを計測する場合がある。なお、違反が判明した場合は記録は参考記録とし、次のラウンドへの進出は認めない。
- (3) サークルから行われる投てき種目（砲丸投、円盤投）は競技用靴に関する規程の適応対象から除外する。

5 アスリートビブスおよび腰ナンバーについて

- (1) 競技者は、ユニフォームの胸と背に必ずアスリートビブスをつける。ただし、走高跳・棒高跳・走幅跳の競技者は、胸または背だけでよい。
- (2) トラック競技においては、写真判定用の腰ナンバー標識を進行方向に対して右側やや後方につける。800m以上の種目は出発係から受け取り、競技終了後返却すること。

6 競技用具について

競技に使用する用具は、会場備え付けのものを使う。ただし、棒高跳のポールは各自のものを使用する。ポールの検査は跳躍審判員が行う。

7 競技場の入退場について

- (1) 競技場は、当該競技出場者および大会役員・当該競技役員・生徒役員生徒・許可を得た報道関係者・県大会申込み監督とする。
- (2) 競技場の移動は係の指示に従うこと。
- (3) 役員・生徒役員以外は、本部前および本部ダッグアウトの中に立ち入ることはできない。

8 その他

- (1) 本大会10番目まで（四種競技は8番目）は県大会に出場する資格を得るので、2日目17時までに県大会申込み手続きをすること。なお、10番目の選手が複数の場合は、抽選で県大会出場者を決定する。

* 2日目の大会終了時には大変混み合うので、自校の出場者が決定後、早めの申込みをお願いします。

- (2) 練習については、公開練習要項を参照すること。